

伊里中学校

# 温故知新

令和2年10月23日(金)

学校便り

NO.17 発行者：清利太志

## 蒼緑祭

## 感動をありがとう!

雨天のため1日延期し、10月18日(日)に今年度の蒼緑祭を開催することができました。今年度は、新型コロナ感染拡大防止のため、1学期の体育会を中止としました。しかし、「ソーラン演舞の伝統を残したい。縦割りでの指導をつなげていきたい。3年生に法被を着せてやりたい。」など、さまざまな思いから、蒼緑祭での全校生徒によるソーラン演舞を計画したのです。

蒼緑祭を「合唱の部」、「体育の部」、「展示の部」とし、生徒たちは短期間での練習を熱心に頑張ってくれました。

「合唱の部」では、各クラスの実行委員やパートリーダーを中心に合唱をよりよいものに上げるため、団結して取り組みました。屋外での合唱で声が聴衆に届くか心配しましたが、私の杞憂でした。

「体育の部」では、縦割り3グループでの練習を行い、3年生はリーダーシップを発揮して指導し、2年生はそれを支え、1年生は上級生にしっかりとついて行きました。全員筋肉痛を乗り越え、気持ちのこもったソーラン演舞を披露してくれました。また、3年生によるサプライズダンスも感動を味わわせてくれました。

「展示の部」では、美術の時間に制作した作品がとても見やすく展示されていました。一つ一つの作品を見ていると生徒たちの創造力や発想力の豊かさを感じ、生徒たちのもつ力は本当に素晴らしいと思いました。

今年度、コロナ禍での蒼緑祭でしたが、行事に真剣に取り組む生徒たちとそれを支える教職員、保護者の皆様に感謝しています。多くのご家族の皆様に参観いただき、ありがとうございました。

